

天地悠久



昨年の総会に出席された恩師、役員と幹事学年の皆さん

平成27年度 西高同窓会総会のご案内

- 1 日 時 **8月8日(土) 午後2時より**
- 2 会 場 吉良町宮崎 三河湾リゾートリンクス
- 3 幹事学年 高校28回生 (昭和51年卒)
高校45回生 (平成5年卒)
- 4 行 事 (1)総会 (2)記念講演
(3)懇親パーティー(会費5,000円)

- 5 記念講演
アナウンサー・名古屋市立大学非常勤講師
後藤圭子氏 (旧姓 颯田)
演題「言葉の基本は あいうえお」
・吉良吉田駅より送迎あり。
なお、幹事学年以外で懇親パーティーに参加希望の方は
同窓会事務局(新家正之教諭)へ TEL 0563-57-2270
旧中学、高女卒の方は無料ご招待いたします。

● 創立100周年に向けて ●

同窓会長 杉田明弘



同窓会会長を務めさせていただいております第22回（昭和45年）卒業の杉田明弘と申します。同窓生の皆様におかれましては、各界にてご活躍のことと存じます。

西尾高校の生徒諸君は学問、文化、スポーツにと活躍し、西三河の有力進学校の伝統を守り

続けています。平成26年度の進学状況では国公立大学に181名、医学部医学科には7名（実数）合格し、剣道、卓球、ゴルフや短歌、フルートなど、運動部や文化部活動においても全国大会などに出場しています。

さて、西尾高校は大正7年、その前身である西尾高等女学校の開校以来、今年で97年目、平成30年には記念すべき創立100周年を迎えようとしています。

同窓会では、関東西中西高会と連携をとりつつ、その輪を広げ、また母校の教育設備の充実に努めてまいりました。100周年に向けては、同窓会・学校・PTAの三者が一体となり、準備を進めています。現在、実行委員会を立ち上げ、記念式典・記念事業・記念誌・財務の4つの委員会を設置することとし、メンバーの選出とその任務の検討に入ったところです。記念事業については、現在の、そして未来の西高生のために何をすべきかを考え、同窓生の100年間にわたる活躍の成果を結集し、単年度に終わることのない継続的な活動の基盤を作ることコンセプトとして取り組みを行ってまいります。

同窓生の皆様には、記念事業のためのご寄付を始め、各種行事への参加や原稿の執筆等多くの活躍の場があります。1人でも多くの方々にご参加いただき、同窓生みんなの100周年とすべく、盛り上げてまいりたいと存じます。ご協力を心よりお願い申し上げます。



応援合戦

● ごあいさつ ●

校長 小野寺雄二



本年4月に着任しました。初出勤の日、玄関ロビーに飾られた斎藤吾朗画伯の「鳥羽の火祭り」に迎えられ、校長室にある内田芳川書家の「天地悠久」の書を拝見してから、真っ先に足を運んだ場所は、武道場です。まだ駆け出しの教師だった頃、西尾東高校の柔道部員を引率し

てきたことがあります。共に汗を流したその量に立つと当時の思い出が蘇り、とても懐かしい気分になりました。

現在も通用門として、旧西尾中学校当時の正門が使用されており、校庭中央には、威風堂々とした旧校舎玄関モニュメントもあります。このような環境の中で、生徒や職員が「ああ悠久の天地かな」で始まる校歌を誇らしげに歌う姿を見て、本校の大药房で自由な校風をひしひしと感じとることができました。

先日、近隣中学校へ着任の挨拶に伺った時、「西尾高校は中学生の憧れです。」という声をたくさん聞きました。多くの卒業生の方々が多方面で広く活躍されていることが、地域の皆様に愛され、信頼を得ていることに繋がっているのだと思います。

私は、このような伝統と風格を備えた西尾高校に赴任することになり、その栄誉と重責に身の引き締まる思いであります。また、3年後には創立100周年を迎えます。大きな区切りに向けて、今までの伝統を受けとめ、継承し、さらに発展させる努力をしていかなければならないと考えております。

職員一同、責任を持って教育活動を行い、生徒諸君とともに、力を合わせて取り組みたいと存じます。同窓生の皆様には、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。



武道場 1929年（昭和4年）築

会員からのたより

西尾市伊藤町 鈴木鈴代

(高女S23年卒・西高S26年卒)

今は昔…、小学校を卒業し、当時は西尾駅東にあった西尾高女に入学。途中、幡豆高等学校となり、そして共学の西尾高等学校となりました。西高になった時には、駅東の校舎から机や椅子を一人ずつ、今の桜町の校舎に運びました。授業料を6年間払った、希有な年代ですね。

京都市西京区 岩津 真 (S44年卒)

西高時代は悩み多き頃でしたが、古き良き時代でもありました。当時の日記を読み返すと、友達と徹夜で話していたことなどが鮮やかに蘇ります。友達とは今でも当時の話で盛り上がります。教員生活36年、ここまで来られたことを感謝しながら、里山近くで暮らしています。

西尾市本町 天野 久 (旧中S19年卒)

卒業後70余年、本年は卒寿を迎えるに当たり、目下盛大な卒寿祝賀クラス会を企画中である。佐治校長率いる「軍隊予備校」で鳴らした西中生活で注入されたヤマトダマシイを以って、年々歳々目に見えて低下する肉体エネルギーに対し同級生一同全力で挑戦中である。

東京都港区 堀本麻由子 (S61年卒)

卒業後、西尾を離れ、30年近くが経ちました。現在は、大学教員をしています。家にはいつもお腹をすかしている10代の息子が2人おり、ワーク・ライフ・バランスに悪戦苦闘する毎日です。時折、西尾茶を飲んでリラックスするのが楽しみです。

西尾市一色町 高須英人 (S47年卒)

昨年定年退職して、現在はNPO法人スポーツクラブ いっしきの事務局で地域の皆さんの仲間づくり・健康づくりのお手伝いをさせて頂いています。私も西高時代に熱中した器械体操の経験を生かし、小学生の子供達に体操の指導をしています。これが健康の源になっています。

西尾市西小柳町 小島茂子 (高女S19年卒)

西尾高女を卒業した時は太平洋戦争の真っ直中で、卒業と同時に女子挺身隊として1年5か月の間、豊川海軍工廠で銃弾作りの毎日でした。しかし今は平和な生活の中で、今年米寿を迎えます。そして、趣味程度の花の栽培や野菜づくりを楽しむ毎日を過ごしています。感謝。

安城市南町 太田貴之 (H22年卒)

狩猟免許を取り、イタチやハクビシンなどを捕まえる仕事をしています。捕獲するためのコツを研究しています。上手くないかもしれませんが、めげずに取り組んでいます。高校在学中には想像していなかったことをしており、人生何が起きるか分からないと感じております。

西尾市中町 板倉啓介 (H元年卒)

昭和から平成に移り変わる歴史的瞬間に卒業しました。家業の写真館を継ぎ、お客様の大切な思い出をカタチにできる仕事に、日々喜びを感じています。現役西高生と接する度、当時の自分よりとても立派に見えて感心しきり。今後もいろんな世代から学んでいきたいです。

東京都国分寺市 小林竜也 (H20年卒)

昨年度、東京都の教員採用試験に合格し、現在都内の公立中学校で特別支援学級の担任をしています。何かしらの問題を抱えた子どもたちの精一杯な姿に感動する毎日であります。今後も子どもたちの自立への道を支えられる教師となれるよう、精進して参ります。

西尾市住崎 野々山幸和 (S34年卒)

卒業して半世紀余りが過ぎ、今は年金生活で毎日が日曜日！ボケ防止のためにボランティア活動や趣味等に励んでいます。老人ホームで喫茶の手伝い、町内の防犯パトロール、おもちゃ病院の活動、詩吟朗詠等……身体が動く限り続けていきたいと思う日々です。

安城市和泉町 加藤亜紗実 (H21年卒)

西尾高校を卒業して6年が経ちました。今、教員生活3年目を迎えています。昨年度は初めて担任をもち、戸惑うことも多くありましたが、充実した1年でした。私がそうであったように、生徒たちにはすばらしい高校生活を過ごしてほしいと思います。

西尾市吾妻町 寺田幸子 (高女S19年卒)

戦争が激しくなった頃、卒業しました。授業料が4円50銭、校友会費が50銭だったと記憶しています。2年時の富士登山、4年時の東京日光への修学旅行は、私たちの時から中止、先生方が、学校の裁縫室で10人ぐらいつつ宿泊させてくださったことがよき思い出です。

西尾市下道目記町 神谷 浩 (S50年卒)

西尾高校を卒業して40年。市内にて神谷石材店(3代目)を営んでおります。お客様の先祖に対する深い思いを大切に、仕事をしています。「ありがとう」お客

様からいただいた一言が次へのパワーとなっています。いろいろな人とのご縁に日々感謝しております。

東京都国立市 谷口則子 (S54年卒)

ライターになって17年。取材記事、単行本、シナリオなど執筆しています。3年間担任だった村井憲明先生に「君は英語ができる」と洗脳され、それが自信に繋がりに妙にたくましい人間になりました。高校時代の先生の影響力は大きい！最新著書『物語でよおアドラー心理学』

横浜市神奈川区 稲垣哲郎 (S34年卒)

数年前、西高登山部が国体で大活躍と聞き、登山部OBとしては大変誇らしい。登山装備も貧弱な昭和30年代に顧問の先生と三千米級の山に登ったこと、卒業後も数年は後輩と南アルプスを縦走したこと等、当時が懐かしい。75歳の現在も国内外の山々を楽しんでいる。

蒲郡市宝町 竹尾将仁 (H2年卒)

西尾市永吉(下矢田町へ移転予定)で税理士・行政書

士事務所を経営しています。息子にマラソン・空手・サーフィン・スキーを教えています。屈辱的にも昨年、水泳短距離で中一の三男に負けました。高校の同級生達とは毎年、恩師の青山泰仁先生を囲んだ食事会を開き、皆気持ちは若いまま、当時のノリで楽しんでいます。

西尾市錦城町 筒井美紀 (S52年卒)

西尾市駅西の城下町にて小さな美容院を構えて26年。近隣の皆様や地元同級生に支えられ毎日楽しく仕事をさせて頂いています。在学時籍を置いた陸上部のOB会は現役の活躍もわかり楽しいです。長野インターハイの入場行進は今でも鮮明に思い出される私の青春の一頁です。

西尾市下矢田町 岩瀬雅俊 (H15年卒)

3年前に転職し、現在製造業の事務職をやっています。まだまだ勉強不足で、周りの方に支えられながら毎日過ごしています。家庭では昨年8月に長男が誕生し仕事での疲れを癒してもらっています。人との繋がりに感謝をし、支える側になれるよう精進していきます。

【OB会だより】

恐ろしくて優しい男

西尾高校柔道部OB・元顧問

昭和52年卒 大河内信之

柔道部は毎年8月12日にOBOG会を開催しています。OGも年々増えて近年随分華やかになりました。

私が壁谷宜男先生から柔道部顧問を引き継いだのは平成9年ですが、壁谷先生の前の顧問の杉山雅美先生の時代にちょうど私は柔道部員でした。毎年夏に合宿をやっておりまして、合宿には現役部員を遙かに上回る沢山のOB達がやってきて鬼のように現役部員達をしごくのでした。その中にひときわ恐ろしく強い先輩がいて、しかもその先輩は強いだけでなく顔もすごく怖くてまともに見ることはできませんでした。それが大竹有二先輩(前校長)でした。大竹先輩は西高生のとき愛知県の国体予選重量級の部で優勝し、県代表で国体に出場していました。また、大学でも柔道部に所属しインカレに出場するほどの猛者でしたので、高校生の私からすればまるで化け物のような強さで、大竹先輩が道場に現れた時はいつも逃げ出したくなるほどビビってありました。しかし練習が終わって柔道着を脱ぐとそれまでとはうってかわっ

て急に優しくなるのです。他を寄せ付けないほど圧倒的な柔道の強さ、まともに見ることさえできない顔の恐ろしさと柔道着を着ていない時の優しさ、そのギャップが大竹先輩の魅力でした。現在もその片鱗は残っているのではないのでしょうか…。



話がだいぶ逸れましたが、そういう訳で毎年OBが沢山集まる8月12日を「柔道部OB OG会の日」と決め次第です。強さと優しさを兼ね備えた柔道家は私達の理想とするところです。これからも我が西高柔道部から大竹先輩のような人物がたくさん育ってくれることを期待します。



柔道部OBOG会

平成27年度入試概況

進路指導主事 石川 邦利

平成27年度入試を振り返って

27年度の大学入試センター試験を、本校生徒350名が昨年に引き続き愛知教育大学会場で受験しました。数学と理科において新課程入試が実施され、その出題傾向も注目されました。全国平均点は5教科8科目文系型で昨年より8点アップして540点(900点満点)となった一方、5教科7科目理系型で昨年より2点アップして570点(900点満点)となりました(注意: 得点調整が行われたので、調整後の数値)。また、国語の易化、数学ⅡBと生物の難化もあり、文理で明暗の分かれる試験でした。理系生徒にとっては出願大学に悩んだ場合もあったのではないかと思います。

国公立大学の合格者数は、現役生142名、過年度卒39名、計181名で、昨年度の現役生154名、過年度卒27名、計181名と同数です。クラスが1クラス増加したことを考慮すると数的には厳しいものでしたが、難関校については比較的好調でした。京都大(2名)、名古屋大(25名)、大阪大(8名)、東京工業大(3名)など、合計45名が合格し、ここ数年で最も多いもの

なっています。また、医学部医学科の合格も例年より多く(名古屋大、信州大、浜松医科大、藤田保健衛生大、東京女子医科、日本大等)、現・浪あわせて延べ12名が合格しました。今年度の3年生は積極的に難関校へチャレンジする生徒も多く、入試結果にもそれが反映されました。

私立大学では早稲田大6、慶応大2、明治大12、東京理科大20、中央大8、同志社大31、立命館大72、南山大147など、延べ1024名が合格しました。県内私大に加えて東京理科大、立命館大の合格が目立ちました。国公立中・後期試験の廃止や定員縮小が進んでいますが、中・後期試験での合格者数は現・浪あわせて48名になります。これは受験者の約3分の1に達し、かなり多い数値、高い合格率と思われます。あきらめずに最後までがんばり抜いたものだけが手にする成果です。また、浪人生の中には合格大学があっても「入れる大学より入りたい大学」を目指して再チャレンジする者もいます。成功した暁には人生の大きな自信になるでしょう。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ 26・27年度大学別合格者数 ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

国公立大学			
大学名	27年度		26年度
	新卒	旧卒	
北見工業			1
北海道		1	2
岩手			1
東北	1		
山形			1
茨城		1	
筑波		1	5
埼玉	1		1
千葉			2
東京外国語	1		2
東京工業	3		
東京農工	1		1
横浜国立	2		1
富山	1		3
金沢	3	2	3
福井	1		
山梨			1
信州	6	1	3
静岡	5	2	20
浜松医科	1	3	1
愛知教育	17	3	24
名古屋	18	7	27
名古屋工業	11	1	8
岐阜	12	6	11
三重	8		10
滋賀	6		1

国公立大学			
大学名	27年度		26年度
	新卒	旧卒	
京都	1	1	3
京都教育			1
大阪	7	1	2
神戸	2	2	4
奈良教育			1
奈良女子	1		2
鳥取			1
島根			1
広島	3	1	3
九州	1		
長崎			1
国立大学合計	113	33	148
首都大東京	1		1
横浜市立	1		1
福井県立	1		
岐阜薬科		1	
静岡県立	1		3
静岡文化芸術	1		1
愛知県立	12	2	6
名古屋市立	9	1	10
愛知県立芸術	2		1
三重県立看護			2
京都府立		1	1
大阪府立	1	1	1
その他公立大学			6
公立大学合計	29	6	33

私立大学			
大学名	27年度		26年度
	新卒	旧卒	
青山学院	1		2
慶應義塾	2		3
中央	7	1	11
東京理科	11	9	13
法政	3	3	2
明治	5	7	21
立教	4	1	5
早稲田	4	2	5
愛知	112	5	40
愛知医科	2	2	8
愛知淑徳	35	2	28
椋山女学園	28	1	38
中京	103	11	101
中部	10	4	30
豊田工業	6	4	1
藤田保健衛生	31	5	22
南山	135	12	133
名城	80	15	77
同志社	20	11	32
立命館	41	31	47
関西西	5	2	5
関西学院	1	7	11
その他私立大学	192	51	181
私立大学合計	838	186	816
国公立大学合計	142	39	181
卒業生数	355		318

部活動報告 [平成26年度]

◆全国大会出場◆

全国高等学校総合体育大会(神奈川県)

【剣道部】 女子個人 杉浦 愛理

全日本卓球選手権大会

【卓球部】 ジュニアの部 佐藤 優帆

◆東海大会以上出場◆

東海高等学校総合体育大会

【水泳部】
 男子200m自由形 10位 山下 晃一
 男子400m自由形 山下 晃一
 【剣道部】 女子団体 5位(ベスト8)
 【登山部】 女子の部

東海高等学校選抜大会

【剣道部】 女子団体

中部日本卓球選手権大会

【卓球部】 シングルス
犬塚 成哉・太田 敦大・佐藤 優帆・可児 菜苗

東海卓球選手権大会

【卓球部】 太田 敦大・犬塚 成哉・玉木 雅人
佐藤 優帆・可児 菜苗

東海ダンスドリル秋季競技大会

【ダンス部】 HIP HOP女子Large 2位

◆県大会成績◆(入賞)

愛知県高等学校総合体育大会

【体操部】 2部女子団体 6位
 【水泳部】
 男子200m自由形 5位 山下 晃一
 男子400m自由形 8位 山下 晃一
 【剣道部】 女子個人 準優勝 杉浦 愛理
 女子団体 準優勝
 【登山部】 男子 4位

愛知県高等学校新人体育大会

【体操部】 2部女子団体 8位
 【剣道部】 女子個人 5位 杉浦 愛理
 女子団体 3位
 【登山部】 男子 10位
 女子A 3位
 女子B 2位

愛知県高等学校体育連盟夏期登山大会

【登山部】 男子 8位
 女子A 2位
 女子B 5位

中日個人重奏コンテスト本大会

【吹奏楽部】 個人の部 銀賞 犬塚 進

愛知県高文連文芸専門部作品コンクール

【芸芸部】 短歌部門 第一席 細川 美樹
平成27年度全国高等学校総合文化祭派遣決定

※県大会出場部

【陸上競技部】【体操部】【水泳部】【弓道部】【剣道部】
 【サッカー部】【バドミントン部】【卓球部】【登山部】
 【ソフトテニス部】【ソフトボール部】【吹奏楽部】



(活躍同窓生)

尺八奏者 大河内^{じゅんや}淳矢 さん

今回は、若手尺八奏者の大河内淳矢さんにお話を伺ってきました。平成26年6月に西尾市文化会館で開催されたコンサートは満席で、素晴らしい演奏でした。

★大河内さんは、西高を何年に卒業されましたか。

平成15年の3月(55回卒)です。

★高校時代の思い出などを教えてください。

中学では、水泳をしていましたが、高校に入り団体競技にも魅力を感じ、バスケットボール部に所属していました。西高祭では、団長を務めさせていただき、団のメンバーと団結し結んだ絆が、今でも忘れられない大切な宝物です。感謝しています。

★尺八奏者となったきっかけを教えてください。

幼い時より、母の影響で和楽器演奏を身近に聞いていました。19歳の頃、あるイベントで塩ビ尺八(水道管を利用して製作した尺八)を手にし、虚無僧尺八奏者の牧原一路氏に出会ったことが大きなきっかけです。

★尺八の魅力はどんなところですか。

尺八は管長により音色が違っただけではなく、奏者自身が削ったりしながら自分だけの尺八を作り出します。気持ちそのものを素直に表現できる楽器であることに大きな魅力を感じます。

★現在の活動状況を教えてください。

東京を中心に活動していますが、声を掛けていただければどこへでも足を運びます。尺八の伝統的な世界だけではなく、和楽器・洋楽器をはじめ、さまざまなジャンルとのコラボレーションにより尺八の魅力を伝える活動をしています。横須賀小学校登校時に尾崎士郎のこぼし「しかし、そこでくじけるな。くじけたら最後だ。堂々とゆけ。」を唱和して過ごした日々の積み重ねが、自分の心を励ます力となっています。ファーストCD『Nostalgia』では故郷を想う気持ち、明日への希望を込めた作品を収録しています。お聴きいただけたら嬉しいです。



【西尾高女の思い出】

戦時中だったが 女学校に通えることが しあわせだった



西尾高女正門

平成30年(2018)に西尾高等学校は創立100周年を迎えます。現在の西尾駅の東に西尾町立高等女学校(大正12年に県立移管で愛知県立西尾高等女学校と改称)が大正7年(1918)4月に開校したことが起点となります。今回、昭和20年に西尾高女をご卒業された中野康子さんと石川とみ子さんに女学校在学当時のことをお聞きしました。

★今は高校に進学することが当たり前になっていますが、当時、高等女学校に進学する女子は多かったのでしょうか。

クラスで1、2割しか進学しませんでしたね。試験もあるし、お金もかかるから。それから、田舎のほうだと、お金があって勉強ができて、世間体が悪いからあえて進学しないという風潮もありました。女学校に通えるということは、しあわせなことだったと思います。

★入学試験はどんな形式でしたか。

内申と口頭試問だけで、筆記試験はありませんでした。試験官の先生がお一人ずつ別々の部屋にいらして、受験生はいくつもの部屋を回って面接を受けました。最後の部屋には校長先生がいらっしゃいましたね。

★どんな服装で通学していたのですか。

紺色のセーラー服で襟には2本ライン、下はスカートです。ネクタイを結んで襟には白いカラーをつけていました。売っているお店などないので、先輩や知り合いから譲ってもらったり、和服や紳士用の服をほどこいて制服に仕立て直したりしました。通学には駒下駄を履いていましたね。校内では、草履に履きかえていました。

★部活動のようなものはありましたか。

ありませんでした。だから、6時間の授業が終わるとすぐに家に帰りました。途中で寄り道しようにも、寄るお店もなかったのです。

★授業や勉強についての思い出を教えてください。

戦時中でしたが、2年生まではまともに授業を受けることができました。国文法、国史、中国史、西洋史、数学、物理、化学、英語、体育、家庭科…いろいろな教科がありました。家庭科では料理や裁縫を学びましたね。「進学より和洋裁、花嫁修業」という雰囲気もあって、家庭科の時間は多かったですよ。でも、当時はどの教科も宿題というものがないので、家でこっそり手伝わってもらうことができず、結構たいへんでした(笑)。

それから、「操行」と「修身」という教科があって、その成績がかなり重要視され、「甲」をとることを親に期待されていました。試験結果が悪くても落第することはなかったのですが、親が学校に呼び出されましたね。

女性の先生は家庭科と体育だけ、後は全て男性の先生でした。また、当時、東京大学卒の遠藤校長先生という方がいらして、4年生にだけ英語の授業をなさっていましたが、戦争のため、私たちはその授業を受けることができませんでした。3年生になった頃から授業の代わりに芋作りなどの作業が増え、4年生からは勤労奉仕ばかりでした。当時、住崎にあった田口航空という工場まで勤労奉仕に行っていました。農作業の手伝いなどもしました。4年生の時は、空襲がひどかったですよ。卒業式もできませんでした。もう2、3年前に生まれるか、ずっと後に生まれていればと思うこともありましたね。

★卒業後の進路について聞かせてください。

わずかでしたが大学に進学する人もいたし、臨時教員教習所に行った人もいました。女学校を卒業してすぐ教員になった人もいました。16、17才で、もう先生になっていたということですよ。

★心に残る思い出は何でしょうか。

特にこれ、ということはありませんが、1、2年生の時は楽しかったですね。校則もさほど厳しくなく、自由な雰囲気でした。「今日はいい天気だし、桜も咲いているようだからお花見に行こう」と先生がおっしゃって、吉良の方まで出かけたなんてこともありました。

それから、2年生の時、体育の授業の一環として東幡豆のお寺に一週間、泊まりがけで水泳訓練に行きました。食事は自分たちで作っていました。お寺のすぐ前が海で、午前も午後もずっと泳いでいました。前島まで泳いだこともありました。あの一週間でみんな泳げるようになりましたね。



水泳訓練(東幡豆海岸にて)

母校に球技練習用壁を寄贈

西高第25回生（S48年卒）でつくる同期会が、運動部員らが壁打ちの練習で使うスポーツウォールを母校に寄贈した。還暦祝いと、同期の大竹有二前校長の西高赴任を記念して有志が企画し、同期生に設置活動と呼びかけたところ、有志150人から浄財が集まり、今年2月28日に完成を祝う贈呈式が行われた。スポーツウォールは高さ3.5m、横幅10.5m、厚さ20cmのコンクリート製で「天地悠久の壁」と命名された。



完成した「天地悠久の壁」の前でポーズをとる各部キャプテンの生徒

お知らせ

- ・今年度の「知性と感性を磨く文化講演会」は、体育館耐震工事により別会場で行うため、定員の都合上、同窓会員のみなさまにはご案内いたしません。ご了承ください。
- ・サッカー部OB会のご厚志によりグラウンド照明器具とミニゴールが設置されました。謹んでお礼申し上げます。
- ・平成28年11月に同窓会名簿を発行します。つきましては、確認のための調査はがきを平成28年2月にすべての会員へ送付いたしますので、ご承知おきください。近年、同窓生を騙る電話による詐欺が頻発しております。ご注意ください。
- ・ご逝去された会員、住所変更された会員をご存じの方はお知らせください。連絡先 西尾高校 榎本千賀（できるだけFAX(0563)-54-6963でお願いします。）

編集後記

今年度、編集委員が半分入れ替わりましたが、これまで通り同窓生の活躍と西高の動向をお伝えしようと思います。また平成30年に創立100周年を迎えるに当たり、同窓会の動きもお知らせします。ご活躍されている同窓生やOB会などの情報がありましたら編集委員にお知らせ下さい。今回、西尾高女OGのお二人にインタビューして、戦時下で青春を過ごされたご苦労をお聞きすることができました。【会報編集委員会委員一同】

「名鉄西尾・蒲郡線 体感ウォーク」にご支援を！

今年も12月21日(月)に第7回名鉄西尾・蒲郡線 体感ウォークを開催します。



こどもの国駅を出発する生徒たち

ハルコンのご案内

西尾高校吹奏楽部は、演奏会「ハルコン」を毎年春休みに西尾文化会館で行っています。今年度で17回目を迎えるこの演奏会は、多くの他の部活動の生徒にも参加してもらい、生徒の手作りによる楽しいステージとなっています。今年度は平成28年4月2日(土)14:00～を予定しています。ぜひお越しください。



関東西中西高会総会のお知らせ

今年の総会は、11月15日(日)、公益財団法人 三河郷友会食堂で開催を予定しています。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

西高同窓会報「天地悠久」第26号

発行日 平成27年7月20日
発行 西尾高校同窓会報編集委員会
〒445-0803 西尾市桜町奥新田2-2
TEL (0563) 57-2270
発行人 同窓会長 杉田明弘
印刷所 資三州印刷